

「第10回空襲・戦災・戦争遺跡を考える九州・山口地区交流会鹿屋集会」へのご案内

空襲・戦災・戦争遺跡を考える九州・山口地区交流会実行委員会

日時 2023年11月25日(土)～26日 13:00～17:00 ※開場は12:30

場所 鹿屋市中央公民館 集会室（定員140人）
鹿兒島県鹿屋市北田町11103番 0994-44-0321

概要

□11月25日：午後 13:00～17:00頃
発表「鹿屋・鹿兒島県内の事例」「空襲・米軍資料の報告」
※全て仮題です。

①小手川清隆（鹿屋市平和学習ガイド）
「8月5日、鹿屋市花岡地区空襲の聞き取り調査から」

②安藤 広道（慶応大学）
「“地理院地図”を用いた戦争遺跡の検索—鹿屋市の事例を中心に—」

③八巻 聡（かごしまの戦跡を探る会）
「鹿兒島県内に設置された海軍防備衛所の
現地調査報告」

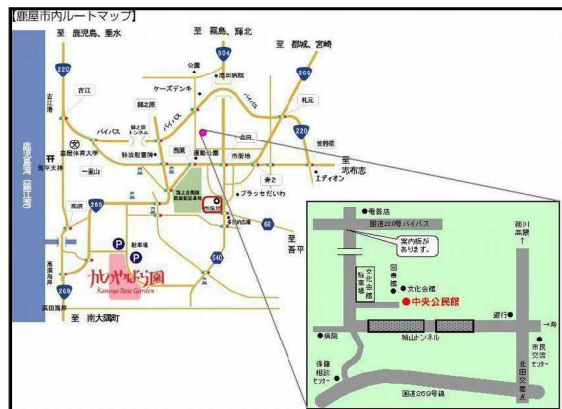
④永益 宗孝（長崎県松浦市）
「鹿屋周辺の防空施設」

⑤工藤 洋三（空襲・戦災を記録する会）
「B29記録から見る沖縄作戦支援」

⑥織田 祐輔（豊の国宇佐市塾）
「鹿兒島への艦上機空襲」



第9回宇佐集会见学会の様子



会場案内図 鹿屋市中央公民館

協議・報告「本日発表の協議」「鹿兒島県への空襲状況のまとめ（中間報告）」

□11月26日：午前 9:00～11:00頃
発表「九州・山口各地からの事例報告」

⑦住吉 太郎（福岡大学学部生）「九州における掩体壕と飛行場の関係」

⑧野崎 哲司（大分県別府市） 「南九州の陸上回天基地」

⑨相戸 力（福岡県筑紫野市） 「山家地下壕建設の再検討 Ⅲ」

□26日（日）：午後 自由参加「現地見学会」 ※参加費は別途実費
※マイクロバス利用予定。見学先変更の場合もあり。詳細は当日お知らせします。
①中央公民館発：12時30分 →②第五航空艦隊司令部壕
→③海軍笠野原基地掩体壕 →④海軍串良基地地下電信壕
→⑤中央公民館着 解散：15時頃

主催 空襲・戦災・戦争遺跡を考える九州・山口地区交流会実行委員会

共催 鹿屋市平和学習ガイド・調査員連絡会

後援 鹿屋市

参加費

二日間通し 1,000円 (資料代・集会運営費) 一日のみ 500円
鹿屋市民は「参加費無料」 ※発表レジュメ集「当日リーフレット」を配布
「情報交換会・懇親会」は、4,000円程度
「見学会」は別途実費

開催趣旨

戦時中の日本本土の防衛や空襲、さらに空襲による被害を考えると、九州・山口地区には、B29部隊による中小都市爆撃や沖縄作戦支援、極東航空軍による九州上陸に向けての空襲、米機動部隊による艦載機空襲など、共通した数多くの話題があります。

日頃は各地域で地道に調査・研究を続けている人たちが一堂に会して、これらの共通した問題を話しあうことは、戦争体験の継承や米軍資料の検討、戦争遺跡の保存が課題になっている昨今、大変有意義なことではないでしょうか。これまでに11月末、以下の交流会を開催してきました。

- 第1回：2014年・柳川市
- 第2回：2015年・久留米市
- 第3回：2016年・玉名市
- 第4回：2017年・出水市
- 第5回：2018年・筑紫野市
- 第6回：2019年・宮崎市
- 第7回：2020年・北九州市
- 第8回：2021年・大村市
- 第9回：2022年・宇佐市

申し込み先・方法 他

「郵送」もしくは「メール」で、以下の連絡先まで、お知らせ下さい。

□参加申し込み締切 **11月4日 (金)**

□申し込み連絡先 九州・山口地区交流会実行委員会世話人 前蘭 (まえぞの) 宛

- メールアドレス eirakuan2@jcom.home.ne.jp
- 自宅住所 805-0064 北九州市八幡東区西台良町10-33
- 前蘭個人携帯 090-4988-5123



26日見学予定先 左：海軍串良基地地下電信壕 右：海軍笠野原基地RC有蓋掩体壕

----- 切り取り線 -----

第10回空襲・戦災・戦争遺跡を考える九州・山口地区交流会鹿屋集会 申し込み用紙

氏名 (ふりがな)	()		
郵便番号・住所	〒 -		
電話連絡先	※緊急時連絡等もあり、できれば携帯番号を記入ください		
メールアドレス			
情報交換会・懇親会 (4,000円程度)	<input type="radio"/> 参加します	<input type="radio"/> 参加しません	※どちらかに○を
見学会 (実費)	<input type="radio"/> 参加します	<input type="radio"/> 参加しません	※どちらかに○を